

吸収合併に係る事前開示書類（変更）  
（会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に基づく書類）

2024 年 2 月 27 日

東京都品川区西品川一丁目 1 番 1 号  
大崎ガーデンタワー  
株式会社 LIXIL  
取締役 代表執行役社長 兼 CEO 瀬戸 欣哉

当社は、2023 年 11 月 27 日付で、当社を吸収合併存続会社、株式会社 LIXIL ウィンドウプロダクツ（本店所在地：東京都品川区西品川一丁目 1 番 1 号大崎ガーデンタワー。以下「LIXIL ウィンドウプロダクツ」といいます。）を吸収合併消滅会社とする吸収合併に係る、会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に基づく事前開示事項を記載した書類（以下「本事前開示書類」といいます。）の備置を開始しておりますが、本事前開示書類の一部に変更（追加）すべき事項が発生しましたので、同条第 7 号の規定に基づき、本事前開示書類を以下のとおり変更します。

なお、本書類では、本事前開示書類で既に開示した内容は記載しておりません、

1. 変更事項

「5. 吸収合併存続会社において最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容」の追加

2. 内容

(1) 非継続事業からの四半期損失（連結）および特別損失（個別）の計上

当社は、2020 年 9 月 30 日付「（開示事項の経過）連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、連結子会社であったペルマスティリーザ社の株式譲渡を完了しておりますが、当該株式譲渡において、当社グループは一定の資金を拠出し、当該拠出金のうち最大 100 百万ユーロ（以下「繰延対価」）については、株式譲渡日から 2022 年 3 月 31 日までの間のペルマスティリーザ社のキャッシュ・フローが一定の条件を満たした場合、株式譲渡契約に定められた手続に従って当社に返還されることが合意されておりました。なお、この繰延対価の決定に用いられるペルマスティリーザ社のキャッシュ・フローとしては、株式譲渡契約において一定項目について調整を行うこととなっております。

当社は、株式譲渡日以降において、買主よりペルマスティリーザ社のキャッシュ・フローの情報等を継続的に入手し、当該繰延対価を独立の評価専門家

を利用して算出した公正価値により評価し、その結果を連結財務諸表に計上していました。当該繰延対価について、売主及び買主間の合意に基づき選任した会計事務所（以下「独立会計士」）にキャッシュ・フローの調整を含め繰延対価の条件についての評価を求めていましたが、当該独立会計士による評価結果を受領し、これに基づき公正価値の再評価を実施した結果、2024年3月期第3四半期において「非継続事業からの四半期損失 48.27 億円」（税引後）を計上することとなりました。また、日本基準に基づく個別財務諸表においては「特別損失 69.38 億円」（税引前）を計上することとなりました。なお、これによる追加の支払い（キャッシュ・アウト）はございません。

(2) 連結子会社 Decorative Panels International, Inc. の解散及び損失発生

当社は、2024年2月22日付で、当社の連結子会社である ASD Holding Corp. が保有する Decorative Panels International, Inc. を解散することを決定いたしました。本件に伴い、解散に伴う費用6億円を「売上原価」として、52億円を「その他の費用」として2024年3月期第4四半期において損失を計上する予定です(注)。

(注) 連結業績への影響については、2024年3月期第3四半期期中平均レート1米ドル142.76円を用いて換算しております。なお、金額は現時点で入手可能な情報に基づく予測であり、為替影響やその他の事象等により変動する可能性があります。

以 上